



アルムの丘から

第 13 号

発行日 平成19年10月8日 編集・発行 グリーンアルム広報委員会

郵便番号: 382-0034 住所: 長野県須坂市大字仁礼7番地10 電話番号: 代表026-215-2662



着任の挨拶と 終戦の思い出

介護老人保健施設
ウイングクロス管理者

宮崎 清夫

平成19年6月1日附けで、社会福祉法人グリーンアルム福祉会介護老人保険施設ウイングクロスに勤務することになりました。私は過去50年間、耳鼻咽喉科医師として医療活動を行って来ました。これも天の配慮か私に与えられた宿命と考えております。50年に渡る舞台上で、人間として耐えながら屈せず努力を自負を感じています。今度、グリーンアルムに勤務する様になったのは、友人、知人の推薦と励ましがあったからです。人間の一生は一條の夢の様です。四、五年前までは勤務生活は考えてもいなかったのですが、グリーンアルムへの勧めのあった時は神の啓示と考えて決断しました。私も高年齢であるので今後どの位続くか考えると、多少不安があります。然し、入所中の皆様方に喜んでいただけるよう、職員の力添えを得ながら、頑張っ勤務して行く覚悟であります。よろしく御願致します。

現在入所中の皆さん同様、余生を歩いている私にとって、当施設で無事勤務出来る事は私の人生に一輪の花を添えるものであると確信しています。思えば、今年で終戦時より61年の歳月が流れました。今、入所中の方々は、戦時中、貴重な体験と筆舌に尽し難い苦難を経験して来られた方々です。同世代の私も、しみじみ親近感を覚えます。

終戦記念日に過去を振り返ってみるとき、苛酷な歴史の一期に同年代の人達と共に暮らした事等が思い出され心の疼きを覚えます。そして再び降り来ぬあの時期を懐かしむと同時に、終生忘れぬ貴重な体験を克服し、同年代の友人と一緒に生き抜いた事を誇りに思います。また、10代の若さで特攻隊員として出撃し、南の海に散華した友人達を思い出す時、万感胸に迫る感じがします。特攻基地を飛び立つ若い彼等の心中は、悠久の大義に殉ずる高揚感であったでしょうか、また一瞬無心で遊んだ故郷の山河と、父母の姿が脳裡をかすめたでしょうか。昭和も遠くなくなって行く若い世代の人達は、すでに戦争の影も遠い彼方へと薄れて行きます。その時淋しいのは、若いまま散って行った多くの友が、そしてその死の意味が遠く遠く消えて行く事です。

敬老会



獅子舞の披露

9月17日(月)に敬老会を行いました。今年は地元仁礼町の獅子舞も駆けつけ盛大なお祝となりました。ご利用者の皆様、これからも元気で長生きしてください。



おめでとうございます。宮崎管理者よりお祝いのお花です。

仁礼町 高仁神社神楽



グリーンアルム100才の永井とみさんのおあいさつ。まだまだお若い!



これからも益々お元気でと、町田理事長よりお祝いのお花が手渡されました。

当施設のご利用者で今年度(平成19年4月1日~平成20年3月31日)に節目を迎えられた方が47名いらっしゃいました。

古	希	1名
喜	寿	9名
傘	寿	9名
米	寿	11名
卒	寿	6名
白	寿	4名
百	寿	1名
100歳以上	寿	6名

おめでとうございます。これからも益々お元気でと、町田理事長よりお祝いのお花が手渡されました。

アルム祭

グリーンアルムの一大イベントであるアルム祭が7月29日(日)に執り行われました。今年もご家族、ボランティア、地域の皆様に多数ご来場いただきありがとうございました。

フリーマーケット



ゲームコーナー

小さなお子様に大人気でした。



ケアハウスご利用者 ヨカリナサークル 「山なみ」



日頃の練習の成果が発揮されました。

和太鼓 かぜ 障風



フラダンス ハラウ ナーレイ オナー ブアナニ



ご利用者の声

ご利用してくださる皆様の声を聞いて、私達もやりがいを感じています。ありがとうございます。

●● 父とデイサービス ●●

昨年十月のある夜、突然にろれつが回らなくなり翌朝病院へ。診断は脳梗塞。その日から始まったのでしょうか、あの認知症。父はワンマン、わがまま、人の話には聞かず。朝から晩まで家族を怒鳴っていた人。「こんな親父の面倒なんて見るものか」と会話もせずして過ごして迎えた今日。もっと会話が あったらボケの防止になったことでしょう。

タバコ、酒、火と悩まされ、タバコを買って来てはそれを私が隠すを繰り返す毎日。あげくにはローソクに火をつけて口にくわえる姿。仏壇、神棚にローソクを立てるのが日課で、火事の心配もあり家に一人であることが不安で、なんとかデイサービスを利用する事に。

そのデイサービスは父にとっては頭の中では会社に行っているつもり。「いつになったら給料をくれるのか」と。「お金、お金」と訴えながらタンスの引き出しを探し、「財布どこへやった、お金くれや」と言われるが、黙って見守っているしかありません。また、トイレで失敗して濡らしてしまうと、夜中外にでて壁のクギに干している姿がありました。

日中は自転車に乗って親戚の家に一人で行ったりすることがあり、事故の心配をし、近所の方々にも父の様子を説明して、何かあったら連絡してほしいとお願いしたり、事故が起きないように大変でした。時には、近所へローソクやマッチがほしいと行ったことがあり、連絡をいただき事無きを得たことがありました。

ワンマンな父は人の言うことを聞き入れてくれない人で、自宅で介護を続けていくには、精神的、肉体的にも非常に疲れてしまい、家族の気の休まる日が無く、疲れが溜まっていくだけでしたのでデイサービスを利用することでとても助かっています。

一回二回と利用を重ね、慣れていく様子が見え、デイサービスの利用回数を増やしたいとお願いしたところ気持ちよく受け入れていただき、合わせて大変感謝しています。グリーンデイサービスには週六日通勤(?)させていただいています。疲れも見せず毎日楽しみにしています。最初は嫌がって拒否する事があり、職員の方々に大変迷惑をおかけしましたが、今は出かける楽しみと喜びに変わり、毎朝一時間前から玄関先に座って迎えの車を待っている父です。

これからも利用させていただき、精神的、肉体的に無理の無いように。これからもデイサービスの心優しく、温かな職員の方々に支えてもらいながら生きて行こうと思っています。

グリーンデイサービスセンター利用のご家族より

●● いそいそと出かける夫 ●●

グリーンアルムへ行く朝は身支度も手早にすませ、お迎えの車到着の三十分前に玄関を出て行く夫です。同じ仲間と気持ち通じ合えて良いようです。

「お風呂は広くて気持ちがいいぞ」「杖は無して歩けた」「おやつがうまかった」「演奏を聞いた」等々、嬉しそうに報告してくれます。昼寝をしたり、マッサージで体をもみほぐして頂いたり、感謝しております。今後もよろしくね。

ウイングラスデイケア(適所り八) 利用のご家族より

編集後記

「悔し涙」

古田敦也東京ヤクルトスワローズ選手兼任監督が、9月19日その夜のゲーム終了後に退任と引退を表明し、記者会見を行なっていました。その時に彼が流した涙を悔し涙と感じた方は、私だけではなかったのではないかと思います。

彼は立命館大学から社会人野球を経てヤクルトに入りましたが、当時「眼鏡をかけた捕手は大成しない」という大方の評価の中で、現楽天グローバルイーグルス野村克也監督の下、1D野球の申し子として、ヤクルトの4回の日本一に貢献し個人としても2000本安打を打ち、押しも押されぬ名選手、名捕手といわれるようになったのです。

大学野球時代、かなりの評価を受けてはいましたがドラフトには縁がなく、当日は指名を受けるものと記者会見まで用意をしていましたが、結局はそこから指名されず落ち込んだ日を過ごしたことも、どこかの新聞記事で目にしました。【名選手、名監督成らぬ】という野球界ではそんな言葉もあつたようです。

あの長嶋茂雄巨人軍終身名誉監督、王貞治ソフトバンクホークス監督ですら、最初の監督時代は相当の苦労を積んで、今の状況をつくり上げてくれたとのことですよ。

私は大のジャイアンツファンですが、古田監督の昨夜の涙にはもろい泣きました。球団フロントとの関係がうまくいかなかったとの報道もありました。チーム作りが思うようにいかなかったのかも、野球ファンとして同情したことも確かです。

おそらく彼は二三年は立ち、また二プロームを着てフィールドに立っているはずですよ。

それがヤクルトなのか、ジャイアンツなのか。もしかしら、日の丸を背負っているかもしれません。

(相馬)

